

資料提供
令和2年1月7日
課名 子育て・少子化対策課
担当者 伊東
内線 3175
電話 082-513-3175

「広島ネウボラ・シンポジウム」を開催します！

令和2年1月15日（水）10：00～ 広島国際会議場

全国の自治体で設置が進められている「子育て世代包括支援センター」のモデルのひとつでもある「ネウボラ」。ネウボラの本場フィンランドから講師を招き、傾聴と対話から利用者と信頼関係を構築していくネウボラの理念を、ワークショップ形式で学び、また先進市町の取組や本県モデル事業を紹介します。

1 開催概要

- (1) 日程：令和2年1月15日（水）10：00～16：30
- (2) 会場：広島国際会議場（ヒマワリ） 広島市中区中島町1番5号
- (3) 対象者：200名（先着順，参加費無料）
 - ・各市町の母子保健担当者，子育て支援担当者，ネウボラ相談員
 - ・子育てに関係する専門職（保健師，助産師，看護師，保育士等）
 - ・地域の医療従事者，子育て支援者，子育て支援員等
 - ・ひろしま版ネウボラに関心がある方

【主催】広島県 【共催】尾道市，福山市，三次市，海田町，府中町，北広島町 【後援】フィンランド大使館

2 開催テーマ 「妊娠期から子育て期の家庭を切れ目なくサポートするための視点」 ～子育ての嬉しい・楽しいを伝えましょう～

3 プログラム 別添リーフレット参照

本シンポジウムの開催に先立ち、シンポジウムゲストによる知事表敬訪問を予定しております。

【知事表敬訪問】

- (1) 日程：令和2年1月14日（火）14：00～14：20
- (2) 会場：県庁北館第一応接室 広島市中区基町10-52
- (3) 訪問者：フィンランド大使館報道・文化担当参事官 マルクス・コッコ とそのご家族
フィンランド国立保健福祉研究所母子保健部門研究統括部長 トゥオヴィ・ハクリネン
大阪市立大学大学院看護学研究科公衆衛生看護学教授 横山 美江

■ ゲスト



マルクス・コッコ

○駐日フィンランド大使館 報道・文化担当参事官
○フランス、スペイン、アメリカ、オーストラリアなどでも生活した経験を持ち、現在は東京で妻と2014年ヘルシンキ生まれの息子と2017年5月東京で生まれた息子と4人で暮らす。



トゥオヴィ・ハクリネン

○フィンランド国立保健福祉研究所母子保健部門研究統括部長
○出産・子どもネウボラでの勤務経験があり、大学においても教鞭をとっている。

プログラムの全日程が取材可能です。取材にお越しいただける場合は、
1月10日（金）までに子育て・少子化対策課（082-513-3175）に御連絡ください。
※取材をいただく場合は、腕章の着用をお願いします。

広島ネウボラ・シンポジウム

フィンランドにおける「傾聴と対話による信頼関係づくり」を学ぶ

妊娠期から子育て期の家庭を切れ目なくサポートするための視点

～子育ての嬉しい・楽しいを伝えましょう～

日時 令和2年 **1月15日**(水) 10:00～16:30(受付開始9:30)

会場 広島国際会議場 B2F「ヒマワリ」 広島市中区中島町1番5号

参加費
無料

定員
200名
〈先着順〉

福祉の国フィンランドで生まれた
「ネウボラ」

ネウボラは、フィンランド語で「アドバイス(ネウボ)の場所(ラ)」という意味。妊娠期から就学前まで切れ目のない支援を行うための地域拠点として、かかりつけのネウボラ保健師を中心に、健診を行い、子育てを支援するさまざまな相談に応じています。

ひろしま版
ネウボラ

「尾道市」・「福山市」・「三次市」・「府中町」・「海田町」・「北広島町」の
6市町で取組みが始まっています。

モデル事業として取り組んでいること

- 相談やサポートの拠点を日常生活圏域(おおむね中学校区)ごとに設置
- 各拠点に保健師、助産師、保育士などの専門職を配置し、さまざまな相談にワンストップで対応
- 妊娠期から3歳までの間に計7回程度、担当の相談員が、全ての妊婦さんや子育て家庭を対象に 定期的な面談を実施
- 妊産婦さんや子育て家庭が利用される医療機関等、地域の関係機関との連携体制づくり




〔主催〕広島県 〔共催〕尾道市・福山市・三次市・府中町・海田町・北広島町 〔後援〕フィンランド大使館



広島県の子ども
元気いっぱいキャラクター
イクちゃん

妊娠期から子育て期の家庭を切れ目なくサポートするための視点 ～子育ての嬉しい・楽しいを伝えましょう～

プログラム

10:00～10:05	●開会	
10:05～10:45	●ゲストトーク（通訳あり） 「利用者から見たネウボラ」 フィンランド大使館 報道・文化担当参事官 マルクス・コココ 夫人 マリア・コココ	
10:45～11:45	●基調講演（通訳あり） 「子育て家庭とネウボラとの信頼関係の構築」～相談員に必要なスキルとココロ～ フィンランド国立保健福祉研究所母子保健部門研究総括部長 ネウボラ保健師 トゥオヴィ・ハクリネン	
11:50～12:30	●トークセッション（通訳あり） 「ネウボラ構築の夢を語る」 広島県知事 湯崎 英彦 ひろしま版ネウボラモデル市町長 フィンランド大使館 報道・文化担当参事官 マルクス・コココ	
13:30～14:30	●パネルディスカッション テーマ 「担当保健師の継続支援と家族支援の基盤づくり」 コーディネーター 大阪市立大学大学院看護学研究科公衆衛生看護学 教授 横山 美江 パネリスト 大阪府大阪市旭区 保健福祉課 静岡県島田市 健康づくり課	
14:30～15:10	Tuovi Hakulinen トゥオヴィ・ハクリネン博士によるワークショップ（通訳あり）	
15:20～16:30	●分科会（モデル市町の報告） テーマ① 「尾道市、福山市、三次市の取組み」（会場ヒマワリ） テーマ② 「府中町、海田町、北広島町の取組み」（会場コスモス）	
16:30	●閉会	

参加申込方法

参加を希望される方は、下記二次元コードもしくはホームページ「ひろしま版ネウボラ」の申込フォームからお申し込みいただくか、下記「FAX参加申込書」をお送りください。手話通訳、要約筆記が必要な方やその他、ご要望等ありましたら、質問事項にご記入ください。

【スマートフォンからのお申し込み】

右記二次元コードからアクセスいただき
申込フォームからお申し込みください。▶



【ホームページからのお申し込み】

ホームページへアクセスいただき
申込フォームからお申し込みください。

ひろしま版ネウボラ

検索

【FAX参加申込書】 送信先 「広島県子育て・少子化対策課」宛 FAX.082-502-3674

フリガナ お名前			お住まい	市 町
勤務先・学校など				
連絡先	お電話			Eメール
分科会の参加希望	<input type="checkbox"/> テーマ①「市の取組み」 <input type="checkbox"/> テーマ②「町の取組み」 <input type="checkbox"/> 参加しない			
保有する資格（任意）	<input type="checkbox"/> 医師 <input type="checkbox"/> 保健師 <input type="checkbox"/> 助産師 <input type="checkbox"/> 看護師 <input type="checkbox"/> 保育士 <input type="checkbox"/> その他保有する資格（ ）			
質問事項（任意）				